【世界陸上大阪大会救護員派遣報告】

世界陸上大阪大会（2007年8月25日～9月2日）

オリンピック、FIFAワールドカップと並ぶ「世界3大スポーツイベント」の一つとして世界的にも注目を浴びた世界陸上。

世界のトップアスリートが一堂に会し、「真の陸上世界一」を決定する熱い戦いが繰り広げられた「IAAF世界陸上競技選手権大阪大会」に、当院は大会事務局からの要請を受け、救護員を派遣し大会を支えました。

平成19年8月25日から9月2日までの9日間にわたり、会場の長居第1陸上競技場内に2ヵ所設置された一般観客用救護所に、それぞれ医師1名・看護師2名・主事（事務）1名を配置し、当院からは全期間で延べ96人（医師24人・看護師48人・主事24人）が派遣され、両救護所あわせて276人の方に診療を行いました。